

# きいちゃんの いきいき支え合い通信

この通信では、地域の「顔が見える」関係の中で、日常生活の困りごとを助け合い、支え合う活動が進むことを願い、生活支援に関する県内の先進事例等を発信していきます。



第22号

令和6年9月  
和歌山県  
長寿社会課

## 第2層協議体活動事例紹介

### 紀美野町動木地区「チーム☆とどろき」

紀美野町では、SCが中心となり令和4年度から第2層協議体の立ち上げに向けた取組を始めました。毎月開催するフォーラムや地区別語ろう会を経て、令和5年度、ついに初の第2層協議体である「チーム☆とどろき」が立ち上がりました。

立ち上げの経緯は次ページ

地域のつながりを重視し、顔の見える関係での支え合いを目指す「チーム☆とどろき」の様々な取組について、お話を伺いましたので紹介します。



チーム☆とどろきの皆様  
(取材当日いらっしゃった方々)

### 最初の取組、丸太椅子の設置

まだ「チーム☆とどろき」の名称が付く以前、最初の取組として実施したことは丸太椅子作りでした。SCが中心となり開催した「動木のいろいろ語ろう会」において、動木地区では歩いて買い物に行く人や散歩をする人が少なからずいるという意見が出ました。それならば、道中にちょっと休憩する場所があると、そこで新たな出会いが生まれたり、関係を深められたりするのではないかと考えたことがきっかけです。



丸太椅子作りの様子

材料となる丸太は、SCが普段の地域訪問で知り合った方から譲ってもらい、製作作業や設置場所の許可取り等は協議体メンバーがそれぞれ役割分担して行いました。結果、様々な場所に丸太椅子を設置することができました。設置後、多くの方が丸太椅子を利用している様子を見かけるようで、特に坂道の途中に設置した丸太椅子で休憩している方を見かけた時は、その方の背中を押して支えているような温かい気持ちになるとのことです！

この成功があったことでチームの絆が深まったことはもちろん、メンバーの特技を活かした現在の様々な取組につながっているのだと感じました。

### 空き家を改修「轟庵」

丸太椅子作りの後、「チーム☆とどろき」では苔玉作り等の創作活動、散歩道の清掃活動とフレイル予防を兼ねたプチ登山、ワークショップやゲーム等の地域交流会を企画するなど、1年間で様々な取組を展開されました。

令和6年度、2年目の活動として取り組んだことは、空き家を活用した居場所「轟庵」作りです。協議体メンバーが所有する空き家を活用し、改修用の木材や家具は協議体メンバーが持ち寄り、自分たちで改修作業をすることで、費用がほとんどかからずにリフォームすることができたそうです。

「轟庵」では、地域の方々がいつでも気軽に来て、遠慮なく過ごせるような居場所を目指しており、地域の方々が新たなつながりを作り交流してくれることを願っているそうです。毎週火曜日は協議体メンバーが交代で運営する「轟庵カフェ」も開催しています！



リフォームの様子



轟庵カフェの様子

### 今後取り組みたいこと

代表の福本さんによると、チームには様々な分野のプロ（特技を持っている人）がいて、各メンバーがその特技を発揮することで、様々な取組がうまくいっているのだそうです。代表の役についても、現在は福本さんですが、来年度以降は1年交代とする予定としており、代表の交代により代表の人脈や特技を活かし、チームがさらに強くなることを期待しているとのこと。今後の予定としては、「楽しむ」というキーワードのもと、協議体の組織化、ITの活用、資金面での自走など、すでに2027年度までの計画が立てられていました！

ココがすごい！



福本さん

協議体メンバーがそれぞれの特技を活かして実施している「チーム☆とどろき」の様々な取組。これらの取組を通して地域のつながりをつくり、支え合いの地域づくりを目指す動木地区の今後が楽しみです。



## 第2層協議体の立ち上げと活動支援 ～紀美野町が取り組む支え合いの仕組みづくり～

### 第2層協議体の立ち上げに向けた取組

紀美野町では、生活支援コーディネーターの紺谷さん、雑賀さん、町保健福祉課の北谷さんが中心となり生活支援体制整備事業を進められています。今回、紀美野町が令和4年度から取組を続けている「第2層協議体の立ち上げ」について取材させていただきました。



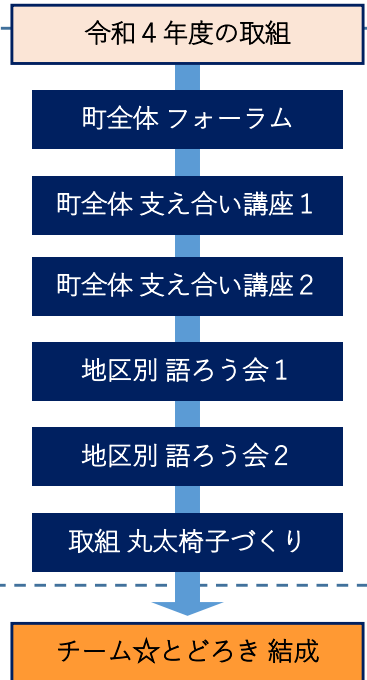
北谷さん 紺谷さん 雑賀さん

### 課題整理と令和4年度取組

令和3年度に県生活支援専門アドバイザー派遣事業を活用し、課題整理を行い、取組方針を検討したところ、紀美野町に必要なことは各地域でのつながりづくりによる支え合いであり、その主体となる第2層協議体の立ち上げに取り組む方針となりました。結果、令和4年度の1年間で右記の取組を実施、令和5年度には第2層協議体が立ち上がりました。

### フォーラムとフォロー講座の開催

第2層協議体を立ち上げるためには、住民の方々に生活支援体制整備事業＝地域で支え合う必要性を知ってもらうことが大事だということで、まずはフォーラムを開催しました。SCの紺谷さんによると、フォーラムでは想定以上の方の参加があり、びっくりしたとのこと。フォーラム後は、1か月毎にフォーラムのフォロー講座「支え合い講座」を開催。地域資源マップの作成や助け合い体験カードゲーム等を行い、フォーラムの内容を深めました。この「支え合い講座」で地区ごとに分かれてグループワークを行ったところ、特に議論が盛り上がったグループがありました。それが動木地区でした。



### 「動木のいろいろ語ろう会」を開催

「語ろう会」では、町全体の支え合い講座の際に作成した地域資源マップをさらに詳細に見える化し、地域の情報交換や地域でやってみたいこと等について話し合われました。ここで丸太椅子づくりが提案され、実施されることになりました。この「語ろう会」や丸太椅子作りで驚いたことは、参加者が知り合いに声を掛け、回を重ねるごとに参加者が増えていったことです。動木地区の皆さんの地域のつながりの基盤の強さを感じました。



フォーラムの様子

### 第1層協議体「きみのむすびのわ」の活性化

第2層協議体の立ち上げを検討するにあたり、紀美野町が令和5年度から令和6年度にかけて取り組まれていることが、第1層協議体の活性化です。一般的に、第1層協議体の会議は年に数回だけの開催になるなど、開催期間が空きがちです。紀美野町では、第1層協議体のメンバーに事業をより深く理解していただき、SCや行政と協議体と一緒に町全体の支え合いについて協議したいと考え、会議を重点的に毎月開催しています。第1層協議体会議は回を重ねるごとに活発に発言が出るようになり、協議体としての名称である「きみのむすびのわ」が決定するなど、着実に一体感をもって議論が進められています。



語ろう会の様子



第1層協議体会議の様子

### 紀美野町の今後の展開について

北谷さんによると、「次の第2層協議体をどの地区でどのようにして立ち上げていくかについて、第1層協議体の皆さんと話し合っていきたい。すでに案も出ています！」とのことで、第1層協議体についても次なる第2層協議体についても今後が楽しみです。

### 県からのお知らせ

- 県では「生活支援専門アドバイザー派遣事業」を実施しています。是非ご活用をお願いします。
- 皆様の取り組みを紹介させていただきます。県職員が取材に伺いますので下記までご連絡をお願いします。  
連絡先：和歌山県長寿社会課 電話：073-441-2521